

普及活動情勢報告（令和6年7月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

あなたのシトウドんな感じ？ ～香美地区シトウド現地検討会～



現地検討会の様子

6月20日、21日に香美地区シトウド部会が現地検討会を開催し、生産者12人が参加しました。

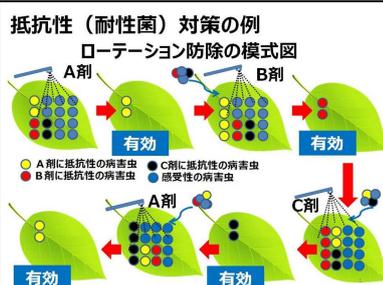
農業改良普及課は、気象概況や病害虫対策、SAWACHIの利用について説明しました。

生産者からは、湿度がこもらない整枝の方法や斑点細菌病に効果のある薬剤について質問があり、生産者同士の意見交換も活発に行われていました。

また、SAWACHIへの関心も高まり、新たに2名の生産者がSAWACHIの利用登録を申請し、5名から出荷データの提供について同意を得ました。

農業改良普及課は、今後も病害虫対策をはじめとする基本的な栽培技術について指導するとともに、SAWACHIの利用を推進していきます。

確認しよう！農薬の使い方 ～南国市大葉部会勉強会～



抵抗性の発達と対策の模式図

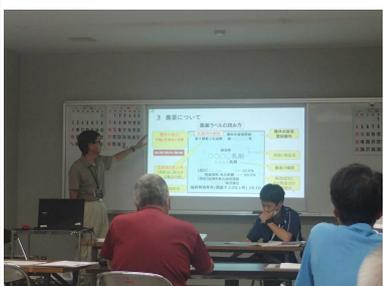
6月24日、JA高知県土長地区土長営農経済センターにて、南国市園芸部大葉部会の勉強会が開催され、生産者及び関係機関16名が参加しました。

農業改良普及課からは、農薬の基礎知識及び農薬の安全使用について説明しました。また、農作業安全や熱中症対策についての啓発も併せて実施しました。

薬剤抵抗性と農薬の「効く」しくみについての説明は、参加者全員が強い関心を示し、また、オオバにおける展着剤の使用の必要性や薬害の発生条件などについても質問があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、オオバの生産安定に向けて支援します。

青ネギ生産に新しい風を！ ～洋菜部会栽培講習会～



栽培講習会の様子

6月24日、25日にJA高知県香美地区洋菜部会が栽培講習会を東西2地区で開催し、生産者28名が参加しました。

農業改良普及課は、青ネギにおける病害虫の発生状況や農薬の特性・抵抗性発達の仕組みなどについて説明しました。また、梅雨から夏期にかけての病害虫防除や高温対策として、被覆資材の使用や品種の選択を提案しました。

参加者からは「アザミウマ類の抵抗性の調査を定期的に行ってほしい」と意見がありました。また、気象データを活用したべと病の発生予測技術や、高温対策による夏期の減収抑制技術に強い関心が示されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、青ネギの生産安定に向けて支援します。

SAWACHIの推進！ ～夏の強化月間について～



推進強化月間での取組について協議するJAと振興センターの職員

7月1日、4日に、JA高知県土長営農経済センター及び香美営農経済センターで「SAWACHI」の推進に向けた協議を関係者で行いました。

本年度は施設品目だけでなく、露地品目や果樹栽培農家への利用拡大を図るため、JAと農業改良普及課が連携し、7～8月に重点的に推進に取り組むこととしました。

農業改良普及課からは、SAWACHIの品目別、地区別での利用申請状況や今後の計画を説明しました。JAからは推進に向けて積極的な意見が出され、出荷場での声かけや個別巡回等での加入推進に取り組むこととしました。

今後も関係機関と連携した推進を図るとともに、SAWACHIのデータを活用した営農支援に取り組みます。

農村女性リーダーネットワーク総会に参加して



活動発表の様子

7月3日に、土佐市複合文化施設「つなで」で、令和5年度農村女性リーダーネットワーク総会及び研修会が開催され、管内農村女性リーダー11人が参加しました。活動発表は「土佐文旦の体験学習をさせていただいて」、研修会は「もくめん屋に嫁いで～女性活躍の視点で～」でした。

参加者からは、「各地区で頑張っている、活動している様子が伺えた」「農業とは違う分野の活動を聞いて興味深い」「この活動を身近な人に知らせて、仲間作りをしたい」との意見が出されました。

農業改良普及課は、次回農村女性リーダーが計画している防災植物の研修会や農業者年金の学習会等の活動を継続して支援していきます。

シシトウ産地の意見集約を！ ～南国市シシトウ4部会合同役員会～



南国としての意見集約を行う各部長、JA、振興センター職員

7月5日、JA高知県土長営農経済センターで、南国市シシトウ4部会合同役員会が開催され、各部長及び関係機関職員13名が参加しました。

合同役員会では、7月10日の県域ししとう部会に向けての意見集約と産地ビジョンに関する協議を行いました。

農業改良普及課からは、非辛みシシトウの情報提供と産地ビジョンの作成に向けたスケジュールや営農意向調査について提案しました。

役員からは、出荷規格や出荷資材の見直し等について意見が出され、県域部会に提案することになりました。また、産地ビジョンの作成について同意が得られました。

今後も、合同役員会を開催し、産地の意見集約を図るとともに、産地ビジョン作成に向け支援していきます。

今年度の取り組みについて協議～ 第1回中央東地区農業改良普及推進協議会～



熱く協議いただきました！

7月8日、香美農林合同庁舎において、農家委員（8名）及び関係機関、農業改良普及課職員計36名が出席し、令和6年度第1回中央東地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

令和6年度の普及計画について説明し、出席した農家委員からは、特に新規就農者確保の計画について「資材高騰でハウスを建てるのが難しい」、「シシトウの出荷場での労力不足を解消すれば産地拡大につながる」といった意見をいただきました。

農業改良普及課は、委員からの意見を参考に関係機関と連携して、普及計画の目標達成に向けて取り組んでいきます。